

## 「ITを活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成」が「S」評価を受けました

昭和大学、岩手医科大学、北海道医療大学の3連携大学が、超高齢社会に対応できる歯科医師を養成することを目的として、地域医療教育などを担当する歯科医師会と協働して、超高齢社会で求められる歯科医師像を掲げて、教材開発と授業の実践をしてきました。

構築した教育システムは、「一般歯科臨床コース」に「地域連携歯科医療実習コース」と、「医・歯・薬・保健医療学部チーム医療演習コース」を加えたものです。追加したコースにおける学びを充実させる目的で基礎知識とアクティブ・ラーニングを身につけるために、3大学で協働して開発したIT教材を活用した準備教育を行っています。

文科省からの事後評価ではS評価と以下のコメントを受けました。基礎知識とアクティブ・ラーニングを定着させるため、3大学の連携で開発した「IT教材を活用した準備教育」による教育プログラムを構築したことは高く評価できる。また、eラーニング計画を着実に推進したことが3大学学生交流や3大学共通試験等の実現につながり、教育を提供する側のシステム構築と学生が学び進む学修プロセスとが相互に影響した質保証のシステムを構築したと言える。学生のラーニング・アウトカムの上昇について、ポートフォリオのテキスト分析、授業時における計測や振り返り内容、CBTとの関係等、様々なアプローチで具体的に読み解くことが実行されている。本事業の有効性を踏まえつつ、専門職の生涯学習の可能性までを見出し、更なる教育改革の成果・改善へ取り組む姿勢も高く評価できる。他大学やステークホルダーからeラーニング教材の利用や教材の生涯学習に活用できる可能性を示唆されており、成果は着実に波及していると言える。補助期間終了後は、事業の継続に向けて着実に準備されているだけでなく、事業の発展性についても、ステークホルダーとの連携を生かし歯科医の継続教育教材開発に着手しており、更なる発展が期待できる。

この5年間で、予想以上に求められる医療が変化し、歯科医師には急性期医療、慢性期医療、在宅医療のすべてのステージでチーム医療の一員として患者のために奉仕することが求められています。今年度から新たに朝日大学も本取組に加わり、臨床研修歯科医教育へのIT教材の活用を検討しています。これらの教材は他大学や、歯科医師会会員の生涯学習にも活用できるように、現在も定期的に会議等を開催して事業を継続していくつもりです。

